倶多楽の火山活動解説資料（平成 23 年３月）

札 幌 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月１日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴煙及び熱活動（図１～２）

日和山の噴煙の高さは火口縁上 40m以下で、噴煙活動は低調に経過しました。

2007 年５月３日から大正地獄で発生している泥混じりの熱湯の噴出は、その後も消長を繰り返しながら継続しています（登別市による）。この現象は局所的なものであり、火山活動の活発化に直接つながるものではないと考えられます。

・地震活動（図１、表１）

今期間、火山性地震や火山性微動は観測されませんでした。

表１　倶多楽　地震・微動の月回数（図３の上登別温泉で計数）

2010～2011 年	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
地震回数	×	×	×	×	×	0	0	0	0	1	2	0
微動回数	×	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0	0

*地震観測点上登別は障害のため 2009 年９月５日から欠測、2010 年８月 31 日で廃止。
2010 年９月１日から上登別温泉で計数開始。

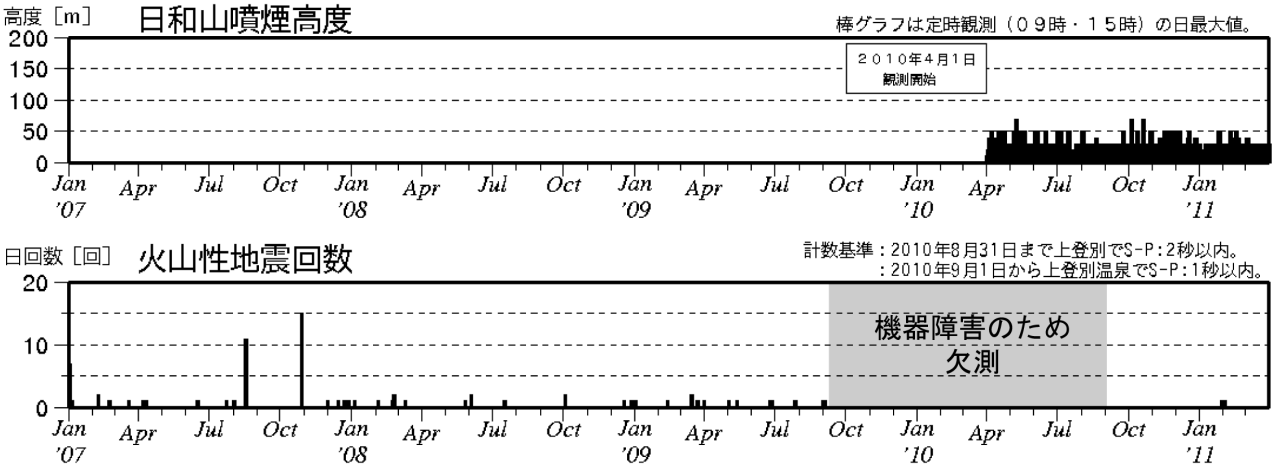

図１　倶多楽　最近の火山活動経過図（2007 年１月～2011 年３月）
図の灰色の期間は欠測

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(http://www.jma-net.go.jp/sapporo/)や気象庁のホームページ(http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年４月分）は平成 23 年５月 10 日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号　平 20 業使、第 385 号）。

図２　倶多楽　日和山山頂爆裂火口の噴煙の状況（2011 年３月２日）
414m 山に設置した遠望カメラ（爆裂火口から南南西 1.9km）による。

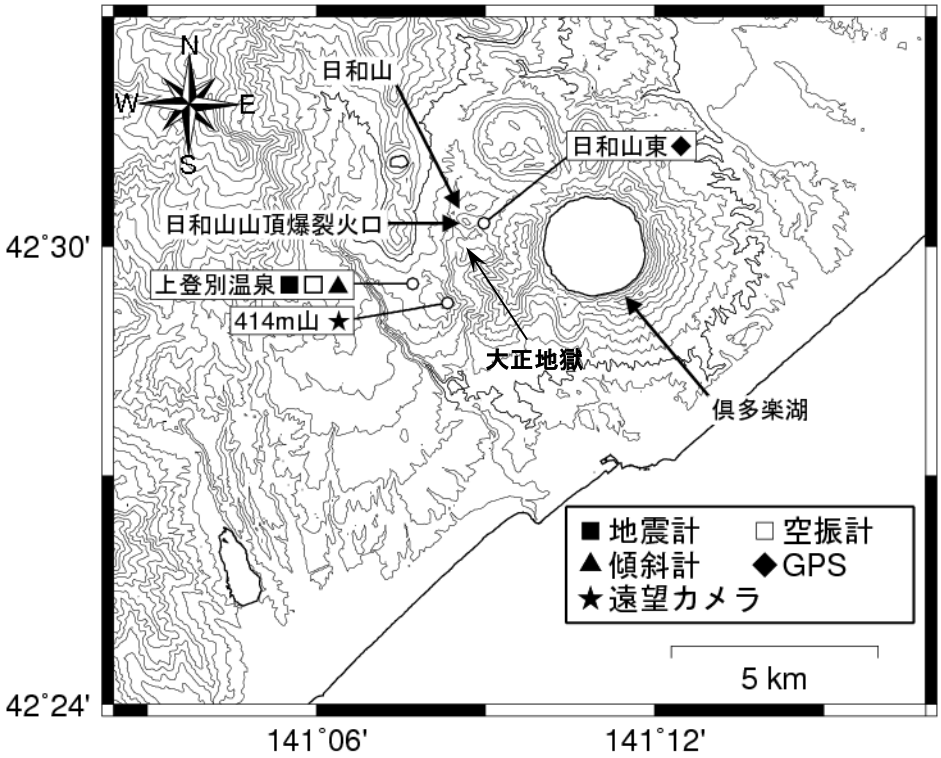

図３　倶多楽　観測点配置図